

—学—会—記—事—

◎昭和 45 年度第 4 回理事会議事録

(45.9.25) 出席者：河上，米谷，長浜の各副会長，羽田専務理事，井上，石上，内田，岡田，吉川，後藤(明)，米沢，鈴木(肇)，鈴木(秀)，星，牧野，三浦，毛利の各理事，川瀬監事。記事：大石会長海外出張のため長浜副会長議長となり議事を進める。議事録署名理事の決定：長浜副会長，羽田専務理事，三浦理事。

A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事により報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 第6回トンネル工学シンポジウムに関する報告。B. 協議事項：1) 「国鉄貨物設備アスファルト舗装設計指針(案)」に関する研究委託について：羽田専務理事から委託研究の内容について説明ののち，鈴木(秀)理事から，補足説明があったのち協議のうえ了承。2) 昭和 45 年度朝日賞の推せんについて。3) 特別委員会費について。4) その他；米国芸術科学アカデミー名誉会員推薦について 日本学術会議の板倉会員から，第5部(工学)から3名推薦したいので，土木から候補を推薦してほしいとの提案があったと，専務理事から説明があったが，人事のことであるから，別に副会長，総務担当理事の間で協議してきめることで了承。5) 会員入退会。6) 委員の委嘱について

① 海外活動委員会

委員長	太田尾 広 治	
委員	新家 義雄	海外技術協力事業団
	井 井 教	東京大学名誉教授
	吉 越 盛 次	学識経験者
	宇野沢亮之助	建設業界
	横 戸 実	建設省
	竹 内 良 雄	運輸省
	井 上 孝	東京大学
	山 本 純	農林省
	伴 正 一	外務省
	渡 辺 宏	電源開発
	橋 本 敏 男	コンサルタント 懇談会
	生 出 久 也	建設業懇談会
	池原 武一郎	国鉄
幹 事	岡田 靖 夫	外務省
	森 平 倫 夫	運輸省
	徳 丸 正 哉	海外技術 協力事業団
	村 井 俊 治	東京大学生産技術研究所
	利 岡 学	アジア航測
	金 津 昭 治	農林省
	美 藤 恭 久	国鉄
	大 橋 一 隆	建設業界
	石 井 民 郎	電源開発
	三 谷 浩	建設省

◎各種委員会

(1) 視聴覚教育委員会(45.8.17) 出席者：丸安委員長，綾幹事長，ほか8名。議事：委員会活動について。

(2) PC 工法 (OSPA・OBC 工法) 小委員会(45.8.19) 出席者：国分委員長，河野主査，ほか24名。議事：OSPA 工法設計施工指針案の逐条審議を行なった。

(3) 論文集編集委員会第3小委員会(45.8.19)出席者：伊勢田主査，ほか2名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告に関連して。5) その他。

(4) 第6回トンネル工学に関するシンポジウムパネルディスカッション打合せ(45.8.19) 出席者：関係者8名。議事：第6回トンネル工学に関するシンポジウム第2日目パネルディスカッションの打合せを行なった。

(5) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会および現地視察(45.8.21) 出席者：寺島委員長，ほか13名。議事：1) 千里ニュータウンの概要について。2) 正雀処理場と熱処理について。3) 熱処理装置について。

(6) 論文集編集委員会第4小委員会(45.8.21) 出席者：1) 新谷主査，ほか5名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告に関連して。5) その他。

(7) 環境問題小委員会幹事会(45.8.22) 出席者：南部副委員長，ほか6名。議事：今後の目的について。

(8) 論文集編集委員会第5小委員会(45.8.24) 出席者：関係者3名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告に関連して。5) その他。

(9) 出版委員会に関する打合せ(45.8.24) 出席者：関係者7名。議事：出版委員会の役割とその活動について種々打ち合せを行なった。

(10) 原子力土木委員会 コンクリート部会(第1回)(45.8.25) 出席者：国分部会長，ほか19名。議事：1) 部会長挨拶。2) 第1回原子力土木委員会経過報告。3) 原子力コンクリート部会の構成について。4) 原子力コンクリート部会の活動方針ならびに運営について。

(11) 第6回トンネル工学に関するシンポジウムパネルディスカッション打合せ(45.8.25) 出席者：関係者6名。議

事：第6回トンネル工学に関するシンポジウム第2日目 パネルディスカッションの打合せ。

(12) 会誌編集委員会(45.8.25) 出席者：千秋委員長，服部幹事長，ほか22名。議事：1) 経過報告。2) 会誌編集方針の件。3) 依頼原稿の件。4) 土木人登場(仮称)欄の件。5) 編集長期計画の件。6) その他。

(13) 欧文論文集編集小委員会(45.8.25) 出席者：林主査，前田委員長，ほか6名。議事：欧文論文集 Vol. 2, Part 1 の編集方針について。

(14) 水理公式集改訂正副主査・幹事会(45.8.26) 出席者：吉川委員長，岩垣副委員長，ほか12名。議事：1) 各編作業進捗状況の報告。2) 人名，文献等の取り扱いについて。3) 資料編の件。4) その他，全体として統一すべき記号，単位などについて。5) 今後の作業予定の確認。

(15) 昭和 45 年度海岸工学委員会 第1回委員会(45.8.26) 出席者：岩崎委員長，ほか25名。議事：1) 議事録の確認。2) 第17 回海岸工学講演会について。3) 企画委員会の提言に対する意見。4) Coastal Eng. in Japan について。

(16) 岩盤力学委員会第1分科会 グラウト班幹事会(45.8.26) 出席者：関係者3名。議事：ダム基礎岩盤のグラウティング施工指針(案)原稿のとりまとめを行なった。

(17) 論文集編集委員会第2小委員会(45.8.26) 出席者：岩垣主査，ほか6名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告に関連して。5) その他。

(18) 石油類パイプライン研究委員会(45.8.26) 出席者：奥村委員長，ほか33名。議事：1) 羽田専務理事挨拶。2) 奥村委員長挨拶。3) 内田建設局長挨拶。4) 国鉄のパイプライン輸送について。5) パイプライン建設基準について。6) 運営方針について。

(19) 論文集編集委員会 主査幹事会(45.8.26) 出席者：前田委員長，田島副委員長，林，岩垣，伊勢田の各主査，ほか5名。議事：1) 各小委員会報告。2) 論文報告集第183号登載原稿の決定。3) 欧文論文集について。4) 討議の取扱いについて。5) 論文報告集のページ数について。6) 委員の交代について。7) その他。

(20) 第2回建設コンサルタント委員会(45.8.27) 出席者：猪瀬委員長，ほか16名。議事：1) 建設コンサルタントに関するアンケートの結果について。2)

幹事会における検討意見について。3) 幹事会の審議の進め方について。4) 小委員会の設置について。

(21) 沈埋トンネル小委員会 (45.8.28) 出席者: 大平委員長, ほか 12 名。議事: 沈埋トンネル設計法に関する研究設計編原案審議。

(22) 海外活動委員会 (45.8.28) 出席者: 太田尾委員長, ほか 10 名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 自己紹介。3) 委員会および幹事会構成について。4) 内規について。5) 特集・土木技術者の海外活動について。6) 今後の予定。

(23) 会誌編集委員会・論文集編集委員会第2回定例連絡会 (45.8.29) 出席者: (会誌側) 千秋委員長, 片山幹事, (論文側) 前田委員長, 長滝幹事, (投稿手引小委員会) 島田主査。議事: 1) 経過報告。2) 投稿手引の件。3) 論文報告紹介欄の件。4) 委員会投稿文献目録原稿の件。5) その他。

(24) 土木計画学研究委員会幹事会 (45.8.31) 出席者: 関係者 7 名。議事: 1) 経過報告。2) 第 5 回土木計画学シンポジウム実施方式について。3) その他。

(25) 視聴覚教育委員会映画・スライド調査小委員会 (45.8.31) 出席者: 関係者 2 名。議事: 土木技術フィルムリスト 1970 年版編集作業。

(26) シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会 (45.9.2) 出席者: 村上主査, 山本副主査, ほか 12 名。議事: 鋼製セグメント実施例の電算による結果の審議。

(27) 原子力土木委員会耐震部会 (45.9.3) 出席者: 岡本部長, ほか 14 名。議事: 1) 岡本部長挨拶。2) 第 1 回耐震部会 経過報告。3) 原子力発電所耐震設計の概況アンケートに関し, 各電力会社委員より説明ならびに質疑応答を行なった。

(28) 文献調査委員会 (45.9.3) 出席者: 小林委員長, ほか 14 名。議事: 1) 会誌 55 巻 11 号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 委員会活動について。4) 次回委員会について。

(29) 図書館運営小委員会 (45.9.8) 出席者: 園田委員長, ほか 2 名。議事: 1) フィッシュフィルムの販売について。2) 蔵書目録第 5 集発行について。3) その他。

(30) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会 PC 設計分科会 (45.9.3~5) 出席者: 河野副委員長, 猪股主査, ほか 10 名。議事: プレストレストコンクリート設計施工指針第 3 次原

案の逐条審議を行なった。

(31) 石油類パイプライン研究委員会第2回委員会 (45.9.4) 出席者: 奥村委員長, ほか 27 名。議事: 1) 専門委員会構成について。2) パイプライン建設基準(案)について。

(32) 岩盤力学委員会第3分科会 (第3回) (45.9.4) 出席者: 石原主査, ほか 6 名。議事: 1) 現地岩盤試験資料の収集について。2) 試験方法の標準化について。3) “土木技術者のための岩盤力学(出版物)” の改訂について。

(33) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ (第1回) (45.9.4) 出席者: 広瀬主査, ほか 5 名。議事: 1) 本年度のスケジュールについて。2) 委員の交代について。3) ダム基礎岩盤の地質調査に関する解説書について。

(34) 出版委員会幹事会 (45.9.5) 出席者: 羽田専務理事, 山本幹事長, ほか 2 名。議事: 1) 昭和 45 年度委員会内規について。2) 委員会構成員の補充について。3) 土木学会出版物の在庫状況について。4) 出版規定・報酬内規について。5) 45 年度出版物について。6) その他。

(35) 原子力土木委員会原子力コンクリート部会打合せ (45.9.5) 出席者: 関係者 2 名。議事: PC 格納容器の材料特性に関する実験ならびにワーキンググループ所属のアンケートについて。

(36) アルミナセメント小委員会幹事会 (45.9.7) 出席者: 関係者 7 名。議事: アルミナセメント指針の検討を行なった。

(37) 会誌編集委員会座談会 (45.9.7) 出席者: 関係者 6 名。議事: 会誌 55 巻 11 号, 橋梁特集号収載座談会開催。

(38) 耐震工学委員会座談会 (45.9.8) 出席者: 関係者 24 名。議事: テーマ関東大地震と都市防災。

(39) 原子力土木委員会立地部会 (45.9.8) 出席者: 松井部会長, ほか 18 名。議事: 1) 部会長挨拶。2) 各委員自己紹介。3) 立地部会の活動方針の検討。4) 予算案の検討。

(40) 会誌編集小委員会 (45.9.8) 出席者: 千秋委員長, 服部幹事長, ほか 9 名。議事: 1) 経過報告。2) 受付論文査読。3) 会誌 55 巻 12 号編集。4) その他。

(41) 昭和 45 年度第 1 回トンネル工学委員会 (45.9.9) 出席者: 藤井委員長, ほか 19 名。議事: 1) 第 6 回トンネル工学に関するシンポジウム最終報告。

(42) 会誌編集委員会書評小委員会 (45.9.10) 出席者: 塚山委員長, ほか 7 名。

議事: 1) 経過報告。2) 受付図書審査。

3) 審査基準協議。4) その他。

(43) 原子力土木委員会幹事会 (45.9.20) 出席者: 小林幹事長, ほか 7 名。議事: 第 2 回原子力土木委員会の準備を行なった。

(44) 第 6 回トンネル工学に関するシンポジウム打合せ (45.9.11) 出席者: 関係者 6 名。議事: 講演者と同時通訳との事前打合せを行なった。

(45) 高校土木教育研究委員会幹事会 (45.9.12) 出席者: 山之内委員長, 三宅副委員長, 小谷幹事長, ほか 7 名。議事: 1) 昭和 45 年度夏期講習会について報告。2) 学習指導要領の改訂と解説書について。3) 設備基準(案)作成について。4) 今後の委員会活動について。5) その他。

(46) アルミナセメント小委員会幹事会 (45.9.12) 出席者: 関係者 6 名。議事: アルミナセメント指針の審議を行なった。

(47) 視聴覚教育委員会第1小委員会(奨励) (45.9.12) 出席者: 綾委員長, ほか 5 名。議事: 第 4 回国土開発映画コンクールについて打合せを行なった。

(48) 土木計画学研究委員会幹事会 (45.9.12) 出席者: 関係者 2 名。議事: 1) 経過報告。2) 第 5 回土木計画学シンポジウム実施の件。3) その他。

## ◎その他

(1) 昭和 45 年度夏期講習会 (45.8.20, 21)

場 所: 杉並公会堂

テ ー マ: 土木工事の積算

講 演 数: 9 題

参 加 者: 754 名

(2) 第 3 回日本地震工学シンポジウム (1970) 第 4 回運営委員会 (45.8.27)

出席者: 福岡委員長, ほか 18 名。議事: 1) 第 2 回論文・刊行・会議運営合同部会の報告および審議事項について。2) 第 1 回会議運営部会の報告および審議事項について。

(3) 本州四国連絡橋耐震合同研究会 (45.8.31) 出席者: 岡本委員長, ほか 22 名。議事: 1) 経過報告。2) 基盤における地震動について。3) 下部構造の振動特性について。

(4) 第 6 回トンネル工学シンポジウム (国際会議)

45 年 9 月 14 日 (月) ~ 16 日 (水)

9.30~17.30

会 場: 東京文化会館 (上野公園内)

テ ー マ: I 岩石トンネル掘進機の現状と将来

- II 山岳トンネルにおける不良地盤掘削工法  
 III 市街地の軟弱地盤におけるトンネル工法

プログラム:

- 第1日 登録, 映画4編  
 開会挨拶, 講演2(日本1, 外国1)  
 夜 レセプション  
 第2日 講演5(日本3, 外国2)  
 パネルディスカッション, トンネル急速施工  
 映画4編

- 第3日 講演7(日本4, 外国3)  
 閉会

見学旅行: B班 青函トンネルほか  
 外人22人

C班 六甲トンネル, 大阪地下鉄ほか 外人19人

参加人員: 国内参加者 605人  
 国外参加者 48人, 参加国 18

## 支部だより

### ◎東北支部

(1) 映画会(45.10.2, 盛岡市岩手大学教室)

参加者: 200名  
 上映: 霞ヶ関超高層ビル, 躍進第2部, 北上川, 東名高速道路  
 (2) 学生見学会(45.9.12, 秋田大学)

土木工科学学生)  
 見学先: 秋田県旭川ダム工事, 秋田県田沢湖周辺国体関連工事, 国道107号線改良工事

参加者: 80名  
 (3) 一般見学会(45.10.6)

参加者: 47名  
 見学先: 北上大ぜき工事, 仙台新港工事, 奥松島

(4) 第6回昼食会(45.10.13, 支部事務局)

出席者: 関係者14名  
 議題: 賛助金収納状況, 45年度行事について, その他

講演: 「アメリカにおける原子力発電工場の現況」

(株)熊谷組技術研究所 池田 弘  
 (5) 講演会と映画会(45.10.14, 宮城建設会館6階)

参加者: 180名  
 講演: 「ミュンヘン市地下鉄建設状況ならびに仙台市地下鉄建設計画についての考察」

東北大学教授 多谷虎男

映画: 北上川, 東名高速道路, 躍進第2部

### ◎関西支部

(1) 材料の疲労破壊と安全設計講習会(45.8.24~25, 日経ホール)

主催: 日本材料学会関西支部  
 協賛: 土木学会関西支部, ほか7学協会

題目: 8題  
 参加者: 129名

(2) 第3回業務研究発表会(昭和45年度)(45.8.26, 中央電気倶楽部)

主催: 建設コンサルタンツ協会大阪支部

後援: 土木学会関西支部  
 研究発表: 7題

特別講演: 1題  
 参加者: 77名

(3) 常任幹事会(第2回)(45.9.18, 土木学会関西支部)

出席者: 関係者12名

(4) 第51回騒音振動委員会(45.8.25, 好文倶楽部)

出席者: 関係者7名

(5) 騒音振動委員会幹事会(第47回)(45.8.25, 好文倶楽部)

幹事: 関係者5名

## 編集後記

菊薫おる季節となり, 会員諸兄には, それぞれの職場において日夜ご活躍のことと幸いです。

さて, 今月号は「橋梁特集」をおとどけします。この特集は, 橋梁構造委員会と本誌編集委員会の担当幹事が半年前から準備・企画した成果で, 土木学会誌ならではの著者内容であります。残念ながら紙数の制約から, 著者の先生方にご無理をお願いしましたので, 読まれるうえで, その点をお察しただければ幸いです。

橋の歴史は人類の歴史であり, 文明の発展とともにその構造・形態も発展・変遷してきました。ローマ人は紀元前からイタリア, スペイン, 南フランスに各橋をのこし, また中国においては, 古い石橋の高欄にすばらしい彫刻をのこしております。わが国においても, 史実に記された最古の猪甘津橋(いかいのつばし—AC 324)から, 歴史とともに名をとどめている橋が数多くあります。

橋はまた, 重要な公共構造物として橋の神(さえの神), 橋姫など信仰につながる伝承とともに親しまれ, 技術も発展してきました。夢のかけ橋といわれた本四の架橋も, もうすぐわが国独自の技術で実現しようとしています。

このように, 橋は, 一般大衆のみならず土木技術者にとっても, 夢を具現する構造物の一つであり, つねに時代の先端にある技術を傾注してつくられております。

直接, 橋梁工事に参画されている方々には, これを機にますますご発展下さいませよう—土木技術者としてお願いする次第です。

また, 直接, 橋梁工事に方々には, 現在の橋梁技術を再認識するためにも, 秋の夜長をこの特集でお過しただき, 土木技術者の夢と希望をなお一層ふくらませ, なお一層のご活躍を祈念するものであります。

(阿部博俊・記)